岩手医科大学

【面接】

形式	個人面接　10～15分 面接官2人
過去問	・志望理由 ・将来の夢、将来の展望、卒業後の進路 ・自己PR ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・調査書・志望理由書の内容について ・部活動・ボランティア活動について ・テストと部活動の試合が重なった際の対処法、学業との両立について ・どのような医師になりたいか、患者とどのように関わりたいか ・生成AIに関する倫理的課題と個人情報保護の両立について ・実習中の様子をSNSに投稿しようとする友人への対応と個人情報保護法について ・対人対話や話し合いの能力を今後どのように活かせるか ・ストレスの解消法 ・医師に必要な資質 ・最近気になった医療系のニュースについて ・安楽死と臓器移植についての考え ・岩手に来たことはあるか、岩手のイメージ ・岩手県の医療の現状、地域医療の課題、医師の偏在について ・卒業後に岩手に残るか ・どうしたら岩手に医師が来ると思うか (MMIに近い形式) ・科学的根拠の乏しいサプリメント等による健康被害についての考え ・試験に向かう途中で高齢者が倒れていた場合の対処とその理由 ・複数の試験と趣味の予定が重複した際の対応について ・部員間で試合への参加意欲に温度差がある場合の対応について

【小論文】

実施なし

東北医科薬科大学医学部

【面接】

形式	個人面接　10～20分 面接官3人
過去問	・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと、専門的に学びたいこと ・将来の夢、将来の展望、10年後の自分について ・大学卒業後の進路、将来進みたい診療科 ・高校で頑張ったこと、今までに先輩や後輩などと頑張ったこと ・部活動について ・得意教科・不得意教科 ・調査書の内容について ・自宅から試験会場までどうやってきたか ・仙台の印象 ・能登の地震について ・東北と地元の共通点はあるか ・地域医療は具体的にどのようなものか知っているか、何で学んだか ・なぜ東北なのか、東北で医師として働く意志の確認 ・なぜ今まで地域医療に携わる医師が少なかったのか ・地域医療を活性化するにはどうすれば良いと思うか ・医師になってどのように地域医療に貢献したいと考えているか ・病気になった友人が経済的な理由で治療を受けられない場合の支援方法 ・医療現場へのAI導入について ・医療を題材とした作品を見たことがあるか ・友人と意見が食い違ったときにどうしてきたか ・戦争を終わらせる方法 （MMI) ・80歳の早期がん患者が手術で治るにもかかわらず手術を拒否した場合の対応 ・夜間の緊急外来でイライラして眠れないと電話があり、同時期に出産の救急が来た場合の対応 ・年齢別医療費のグラフを見て読み取れること、問題点を答える

【小論文】

形式	テーマ型　60分　600字以内
過去問	グラフから原因、問題点等を考察し、解決策を述べる ・自動車所持数と糖尿病患者数、脂質・タンパク質摂取量との関係のグラフ、男女別年齢別BMI値のグラフ、同じく糖尿病患者数のグラフから、糖尿病の患者数の変化の原因を考察し、患者数を減らす方策を述べる ・日本の出生数と合計特殊出生率の年次推移、都道府県別合計特殊出生率、同じく若年人口における男女比を見て、日本の抱える社会問題について考察し、対策を述べる ・自動車事故のうち75歳以上とそれ未満の年齢の人が起こした事故件数の変化のグラフと、高齢者の各年齢における自動車免許の自主返納件数の変化のグラフから、読み取れること、問題点、改善策を述べる ・成人を対象にどこで最期を迎えたいかとそれまでの医療ケアをどこで受けたいか、全国の自宅死と老人ホームでの死の割合、全国の地域ごとの在宅医療支援に特化した診療所と1万人当たりの病院数、それぞれのグラフを見て、在宅医療と地域医療の問題点、解決策を述べる ・医師と薬剤師の年齢層別の女性の割合のグラフから、医療現場の問題点と解決策について考えを述べる

国際医療福祉大学医学部

【面接】

形式	個人面接 30分×2回 面接官3人
過去問	（1回目） ・自己紹介、自己PR ・志望理由（本学、医師） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・将来の夢、将来の展望、卒業後の進路 ・高校で頑張ったこと ・部活動・サークルについて、学んだこと ・長所と短所、医師の資質として生かせる点 ・得意教科、不得意教科 ・調査書・志願理由書の内容について ・なぜ医師なのか（他の人を支える仕事との違い） ・健康を維持するためにしていること、無遅刻無欠席について ・希望の診療科、臨床医か研究医か ・地域医療・僻地医療について ・僻地で担当外の患者や資材不足に対応する方法 ・英語を学ぶ理由、英語の授業についていけるか ・国際性とは何か、国際性についての理解 ・初対面の人と接するうえで心掛けていること ・1人でいるのと集団でいるのとどちらが好きか ・趣味について、その経験から得られたこと ・オープンキャンパスの印象、YouTubeは見たか ・併願校について、全て受かった場合どこに進学するか ・去年受験した大学と、落ちた理由 ・医療現場でのチーム医療について ・リーダーになる上で大切なこと ・医学部を受験していなかったらどの学部を受験しているか ・共通テストの出来 （2回目） ・本や新聞をどのくらい読むか、その理由、印象的な本 ・ニュースの仕入れ方、各媒体のメリット・デメリットや特性 ・気になるニュースとその理由（医学・医学以外、国内・海外） ・医師に必要な資質・教養と、その素質が自分にあるか ・筆記試験の出来について ・医療ニュースや時事問題について ・ゲーム障害、ギャンブル依存についての対応・予防法 ・インフルエンサーの影響、情報の信憑性や嗜好への偏りについて ・フィルターバブルの予防法、ネットでの意見の偏りや分断の背景 ・ネットの中での同調圧力への対処法 ・日本の避難所のあり方、災害関連死と生活環境の関係 ・避難所で医師として活動する際に重視すること、多職種連携について ・選択的週休3日制導入による影響と、導入が難しい業種の人手不足解消法 ・カスタマーハラスメントの背景、対策、正当なクレームとの違い ・献血不足の解消法、献血有料化（売血）の問題点 ・移民問題と介護士・ホームヘルパー不足の関連性・課題 ・少子高齢化の解決策 ・薬の供給不安とドラッグロスへの対応、誤処方問題への対処法 ・部活動によって得られたこと ・選挙へ行くか ・女性初の総理大臣についてどう思うか

▽合格した卒業生のアドバイス
最初の部屋は医師の志望理由、高校生活などの一般的なことについて、次の部屋は時事問題について聞かれるという形式でした。面接時間が30分×2と非常に長いため、一つの質問に対してかなり深くまで聞かれた印象でした。答えをテンプレートのように準備しておくのではなく、きちんと理由も答えられるようにしておくと安心です。

二つ目の部屋では、前半は主に自分の興味のある時事問題について、後半は面接官の先生が用意したいくつかの時事問題について質問をされました。面接官から挙げられたニュースの中では内容が全く分からないものがいくつかありました。

しかし、正直にわからないと答えたところ、面接官の先生がわかりやすく教えてくださり、その内容を踏まえて自分の考えを述べることができました。内容が曖昧な場合は、どこまで知っていてどこからがわからないのか正直に答えるのが良いと思います。

私は、医師の志望理由や高校生活など一般的な質問への回答、パンフレットに目を通す程度に留め、国際医療福祉大学の面接に特化した対策は行いませんでした。

【小論文】

形式	テーマ型 60分 600字
過去問	・超高齢社会で終末期医療の重要性が高まる中、医療技術やAIの進歩と限られた医療資源を踏まえ、今後の終末期医療のあり方を述べる ・介護分野の課題解決のための政策的・社会的アプローチと、解決策が実現した場合、どのような長期的な変化がもたらされるか ・医師の働き方改革が医療提供体制に与える影響について、利点と懸念点を述べる ・質の高い医療の提供と医療者の育成の両方をこなすには、安全面から考えて何が最も必要か

▽合格した卒業生のアドバイス

小論文は一次試験にて行われます。
テーマが与えられて、それに関して思うことを60分で書くという形式でした。特別変わった形式というわけではないので極端に書きづらいということはおそらくないと思います。字数もそれほど多くはなく、内容も比較的書きやすいものなので特別な対策をする必要はないと思われます。

獨協医科大学

【面接】

形式	個人面接 10～15分 面接官3人 （栃木県枠は大学の面接に加えて、自治体の面接1回）
過去問	・志望理由（医師、大学） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・大学卒業後の進路、将来の夢、将来の展望 ・高校で頑張ったこと、部活動・課外活動について ・自己PR、長所と短所 ・得意教科、不得意教科 ・調査書や自己申告カードの内容について ・理想の医師像、めざしている医師像 ・最近心を動かされたニュース ・アドミッション・ポリシーと自分が合っている点、合っていない点 ・本学のディプロマ・ポリシー、建学の精神を知っているか ・患者が求める医師の資質とは、あなたはそれを持っているか ・国際交流の経験について、留学についてどう思うか ・面接に来る途中に人が倒れていたらどうするか、受験できなくなる可能性があったらどうするか ・気になっている社会問題と、それに対して自分は何ができるか ・浪人生活で努力した事や苦労した事 ・一次試験の手応え ・悩み事の解決方法について ・地域医療について ・栃木、本学に来るのは初めてか

▽合格した卒業生のアドバイス

自己PR、得意・苦手科目、趣味や特技などの典型的な質問は事前に面接シートに記入するので用意しておいたほうが良いと思います。

大学のアドミッションポリシーや特徴(地域医療教育、国際交流重視など)は覚える必要はありませんが、目を通しておくとよいと思います。

全体的に、典型的な質問への自分の回答に対して、深追いして質問される印象でした。上手いことを言おうとせず、素直に答えていれば問題ないと思います。

【小論文】

形式	課題文読解型　60分　本文要約200字　意見論述400字
過去問	課題文として文章が示され、(1)文章要約、(2)文章について自分はどう考えたか、を述べる。 ・『嘘をつく』とはどういうことか 哲学から考える」（池田 喬 著） ・「ビジネスと人生の『見え方』が一変する 生命科学的思考」（高橋 祥子 著） ・「AI にはない『思考力』の身につけ方 ことばの学びはなぜ大切なのか？」（今井 むつみ 著） ・日本と海外のパンデミック、インフォデミック、コミュニティへの対応の比較についての文章 ・障がい者の「健常者を前提とした社会モデル」での生きにくさと、そのことの世間への認知についての文章 ・「マジョリティ中心の社会における自分の立ち位置を知ること」（心理学ワールド 102号）

▽合格した卒業生のアドバイス

２ページ半程の現代文を読んで内容について要約し、内容について自分で考えたことや感じたことを述べるものでした。

時間に余裕があり、内容は限定的なので、他大学の試験と比較しても書きやすいと感じました。

小論文対策は基本的なこと（字数を守る、時間配分をするなど）で十分だと思います。

埼玉医科大学

【面接】

形式	個人面接 15～20分 面接官:3～4人 ＊事前に面接シートを記入（20分）
過去問	（面接シート） ・医師志望理由 ・本学志望理由 ・入学後に取り組みたいこと ・部活動や課外活動で力を入れたこと ・友人関係で大切にしていること ・志望理由（医師、大学） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・将来の夢、将来の展望、どのような医師になりたいか ・高校で頑張ったこと、部活動・ボランティア活動について ・自己PR、誰にも負けないと思うこと ・長所と短所、苦手な人との付き合い方 ・調査書・面接シートの内容について ・研修医になったとき、予期せぬことが起きたらどうするか ・研究についてどう思うか ・医療ニュースについて ・ストレス発散法について ・人生最大の失敗 ・埼玉医科大のイメージ ・なぜ浪人したと思うか、浪人生活で心がけたこと ・家族との関係、誰とよく話すか （3つ挙げてその中の1つを説明せよ、という形式の質問） ・面接官に薦めたいアニメを3つ挙げ、1つについてあらすじと薦めたい理由を話す ・自分の人生に影響を与えた友人を3人挙げ、1人から受けた影響を話す ・映画やドラマで好きな作品を3つ挙げ、1作品について紹介する

【小論文】

形式	記述式　和文大問2題、英文大問1題　各大問数題　各10～200字程度 　60分
過去問	課題文を読み、要約・説明、和訳する ・「やまいだれの歌」（ 西村賢太著） ・「ニセ科学を 10倍楽しむ本」（山本弘著） ・「本は眺めたり触ったりが楽しい」（青山南 著） ・「Adapted from Political Political Theory」（Jeremy Waldron著） ・「Adapted from Free to choose」（Milton Friedman and Rose Friedman 著）

北里大学医学部

【面接】

形式	個人面接 10～20分 面接官3人 ＊募集要項は「面接方法は、グループ面接または個人面接あるいは両方が複合した面接」とあるが、近年は個人面接の形式
過去問	・志望理由（大学、医師） ・将来の夢、将来の展望、将来の医師像 ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・大学卒業後の進路 ・高校で頑張ったこと、高校生活で部活動以外に取り組んでいたこと ・部活動について、部活での先輩・同輩・後輩との関わり方 ・調査書の内容について ・国内外の医療の問題を1つ挙げて、その問題に医師として何ができるか ・少子化についてどう思うか ・学習以外で学んだこと ・気になる社会問題、医療系・社会系のニュースについて ・その他の人間関係で困ったことと克服の仕方 ・部活動で意見が対立したときどうしたか ・医師に必要とされる要素、どのような医師に診てもらいたいか ・AIの進化と医療について ・学校以外で友達と集まって行動したことはあるか

▽合格した卒業生のアドバイス

全体的に典型的な質問が多く、特別な対策は必要ないと思います。私は自己アピールが思いつかず10秒くらいで終わってしまったが合格できたので、肩の力を抜いて臨んでください。

【小論文】

形式	課題文読解型　90分　20字～800字程度 （以下の形式で3問程度の出題） ・タイトルをつけるor穴埋め問題（20字） ・傍線個所について説明or要約する問題（100～200字程度） ・本文を踏まえて意見を述べる問題（800字）
過去問	以下より抜粋した文章からの問題 ・「AIにはできない」（栗原聡 著） ・「どの科に進むか、決めきれなくて・・・」（三谷雄己 著） ・「脳の闇」（中野信子 著） ・「共感の正体」（山竹伸二著） ・「難病と脳神経内科医のキャリアパス」（成田有吾著） ・「間違い学」（松尾太加志著） ・「予防の倫理学 事故・病気・犯罪・災害の対策を哲学する」（児玉聡著） ・「客観性の落とし穴」（村上靖彦 著）

杏林大学医学部

【面接】

形式	個人面接 15分程度 面接官2～3人 （東京都枠は大学と自治体の2回） ＊事前に面接シート記入（25分）
過去問	（面接シート） ・自己PR （課外活動やアルバイト、海外在住歴、趣味・特技など） ・志望理由（医師、大学） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・将来の夢、将来の展望 ・高校で頑張ったこと、高校生活や部活動について ・長所と短所 ・得意教科、不得意教科 ・調査書の内容について ・大学の印象、その印象を受けてなぜ志望したのか ・面接資料（自己PR・面接シート）の内容について ・面接資料に書ききれなかった自己PRはあるか ・話を聞き出すために気を付けていることはあるか ・周り（周囲）からはどう思われているか、評価されているか ・医師になるにあたり、自分に足りないものは何か ・直美についてどう思うか ・留学を考えているか ・将来の医師像と、それと大学の意向が異なっていたらどうするか ・コミュニケーション能力について（上手くいった経験と失敗した経験） ・医師に必要な資質 ・医療にAIが導入されることについて ・一億円のお金がある場合、1人の難病の人に使うか、治療法がある何千人もの普通の病気の人に使うか ・地域医療について、医師偏在はどう解決すればよいか

▽合格した卒業生のアドバイス

全体的な雰囲気は比較的穏やかで、ほとんどの質問が典型的で答えやすいものでした。難しい質問であってもその時に考えたことを自分の言葉で伝えることが大切だと思います。

志望動機や理想の医師像など、典型的な質問に対する回答を準備しておけば大丈夫だと思います。そのほか保険制度や最近の医療トピックなど最低限の知識で知らないことがあれば、一度内容を確認しておくと質問をされたときに焦らずに済むと思います。

【小論文】

形式	テーマ型　60分　800字程度
過去問	・「美」ということについて、論じる ・「知は力なり」ということについて ・「公平」ということについて ・「老いる」ということについて ・「豊かな人生」ということについて ・「足るを知る」ということについて ・「内面と外面」について ・「信じる」ということについて ・「愚直であること」について

▽合格した卒業生のアドバイス

テーマに対する考えを述べるものなので、対策は基本的なこと（字数を守る、時間配分をするなど）で十分だと思います。テーマが抽象的であるほど、自由に書ける範囲が広がってくるので、基本事項の中でも、書くことを整理してから書き始める点を意識して取り組むとよいと思います。

慶應義塾大学医学部

【面接】

形式	個人面接 10分程度×2回 面接官2人 （栃木県枠は大学の面接に加えて、自治体の面接1回） ＊事前に調書記入
過去問	（面接調書） ・電話番号4つまで（補欠連絡に使用） ・履歴、経歴 ・併願校と合否 ・医学部志望理由 ・学生時の活動 ・趣味、特技、賞罰 ・奨学金受給歴　など ・志望理由（本学、医師） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・大学卒業後の進路 ・将来の夢、将来の展望 ・高校で頑張ったこと ・部活動について ・長所、短所 ・得意教科、不得意教科 ・調査書の内容について ・国立大（国公立大）と両方合格したらどちらに進学するか ・併願校の状況について ・学科試験（一次）の出来・手応えについて ・息抜き、ストレス発散法について ・具体的にしたい研究、興味のある分野、本学の知っている研究 ・小論文の内容について ・皆勤の秘訣 ・医師とはどういうものと考えているか（理想の医師像） ・浪人している間に心掛けたこと、浪人生活について ・ワークライフバランスについて

【小論文】

形式	テーマ型　600字　60分
過去問	・データや数値など客観的指標を重視しすぎることへの批判について、考えを述べる ・「科学者とあたま」（寺田寅彦 著）を読み、「科学者になるには「あたま」がよくなくてはいけない、と同時に、科学者は「あたま」が悪くなくてはいけない」という命題について、考えを述べる ・児童虐待について思うことと、なくすためにはどうしたらよいか ・治療費を支払うお金がない人が治療を受ける権利について ・赤ちゃんポストを利用した人にどのような言葉をかけるか ・末期癌の患者の担当になった研修医としてどのような声をかけるか

順天堂大学医学部

【面接】

形式	個人面接 20分程度 面接官3～4人 （栃木県枠は大学の面接に加えて、自治体の面接1回）
過去問	・志望理由（大学、医師） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・大学卒業後の進路、将来の夢、展望 ・高校で頑張ったこと ・部活動について（部活を続けたモチベーション） ・自己PR ・調査書の内容について ・持参した資料について ・小論文試験について ・小論文の題材について試験後調べたりしたか ・小論文に関する自分のエピソードはあるか ・学校の校風についてどう思うか ・将来進みたい科とその理由 ・本は結構読むか、どのような本を読むのか ・挫折の経験について ・海外留学の経験で学んだこと ・併願校とその合否（昨年の受験結果と今年の私立大学入試の結果） ・長所、短所 ・得意教科、不得意教科 ・理想の医師像 ・スマートフォンの使用頻度やSNSについて ・情報の真偽を確かめる方法について ・AIは医師の仕事を奪ってしまうと思うか ・人のためにする仕事は医師以外にもあるが、なぜ医師なのか

▽合格した卒業生のアドバイス

面接官は4人。左から順に、①持参した資料についてよく質問する人、②1番偉い進行役の人、③小論文についてとても詳しく質問してくる人、④全く喋らない記録係、という感じ。

面接官の人数分全く同じ資料が入ったファイルを4つ用意し、ファイルには見やすいようにインデックスシールをつけたところ、面接官に好評だった。この③の人が、自身の小論文の答案についての説明を求めたり質問をしたりすることに加え、事前の想定問答では用意していないことを結構聞いてくる。今回の例で言うと、小論文では「差別」というものがテーマだったが、「あなた自信が差別というものを経験したことはあるか」(答えに対してさらに突いてくる)や、「人種差別撤廃の政策が行われた当時のアメリカで、その政策は上手くいったと思うか」など。

1次試験で小論文を書くので、終わったあとに自分の答案の要点をメモしたり、関連テーマについて少し考えておくとやりやすくなると思う。どういう意図でそうした答案を書いたかなども覚えておくと、面接で③の人のパートがやりやすくなるはず。③の人はかなりちゃんと小論文を読んでくれていた印象。

結構、その場で考える力を試されている質問が多いと感じた。

全体として、一般的な質問、事前に書いていた小論文に関する質問、持ってきたものに関する質問がありました。
面接時間は比較的長めなので、どの質問も深く掘り下げて進んで行きました。質問に対して答えが一文で終わってしまうよりも、その理由などをしっかり自分の言葉で説明したことで、話が途切れて答えづらい質問をされてしまうという事を防ぐことができました。

部活動やボランティアなど、これまでの特徴的な活動を行ったことを証明する資料はほとんどの人が持参していました。資料に関しては特に悩む必要はないと思いますが、話のネタになるように一つ一つの物に関する話題はなんとなく考えていた方が良いと思います。

また小論文に関して面接のときに聞かれると思うので自分がどのような意図で書いたのか少し思い出してみると良いと思います。

全体的に和やかな雰囲気で進んでいきました。

【小論文】

形式	図版型　70分 （一般A）800字、（一般B,併用）600字
過去問	・アフガニスタン難民の少女の写真を見て、少女のまなざしから読み取れる思いと、それが自分とどのように関わるを述べる ・難民キャンプの少女の写真をみて、WHOは健康とは肉体的・精神的・社会的に満たされている状態と定義するが、彼女の健康に生涯にわたって影響する社会的要因と、医師として何ができるかを述べる ・「まちのねにすむ」の写真（都心で撮影された2匹のネズミ）を見て、2匹は何を語っていると思うかを述べる ・人種統合教育と題された写真(白人の小学生と黒人の小学生が握手を交わす写真)を見て、この子供たちから、多様化が推し進められている現代の日本へのメッセージを述べる（＊写真が撮られた1976年当時のアメリカでは人種差別撤廃の一環として公立学校で黒人の割合を平均化する政策が取られていた） ・特攻隊員の出撃前に記念撮影された写真を見て、この中の一人として家族に向けた手紙を書き、心情を述べる ・数億年後に形成が予想される新大陸の地図を見て、この大陸にどのような世界が広がっているかを述べる

▽合格した卒業生のアドバイス

小論文の内容について面接で聞かれたので、面接までに調べておくとよさそうです。

絵をみて思ったことを書くというやや特殊な形式でした。

何について書くのかテーマを決めるのに少し時間がかかりましたが、自分の知識と無理やり繋げても特に問題は無いように思われます。字数もそう多くはないのである程度内容がまとまれば書けてしまうと思います。

特別な対策は必要ないと思われます。

昭和医科大学医学部

【面接】

形式	（I期） 個人面接　10分 面接官2人 ＊事前にアンケート記入（20分） （II期） 個人面接　5分×4回のMMI方式 （2分で課題文を読み、3分で自分の考えを述べる） 面接官1人
過去問	（アンケート） ・医師志望理由 ・本学志望理由 ・本学のオープンキャンパスや紹介動画について ・高校時代の活動について ・自身の性格について、医師に向いている点、感動したこと　など （個人面接） ・志望理由（なぜ本学なのか、医師を目指した時期） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・大学卒業後の進路、将来の夢、将来の展望 ・高校で頑張ったこと ・部活動について ・自己PR ・長所、短所 ・調査書・アンケートの内容について ・地域医療に携わる若い医師を増やすには、地域医療について ・最近感動したこと ・寮生活の楽しみなところ、不安なところ（寮生活は大丈夫か） ・寮で同室の人と喧嘩した場合どう対応するか ・チーム医療とはどのような仕組みか（チーム医療での医師の役割、気をつけること） ・チーム医療のイラスト（患者が真ん中にいて周りを医療従事者が囲んでいる図）に足りないものは何だと思うか、その理由 ・最近気になったニュース ・小論文について ・得意教科、不得意教科 ・併願校について ・どのような医師になりたいか、どの診療科に進みたいか ・初対面の人とのコミュニケーションの取り方 ・今まで一番辛かったこと ・意見が合わない人とのコミュニケーションの取り方 （MMI） ・1年次の基礎医学の勉強にどう取り組むか、躓いてしまったらどうするか ・都道府県別医師数の資料から読み取れること ・イラストをみて思ったことを述べる ・医師が先生と呼ばれることについて

▽合格した卒業生のアドバイス

大学説明会などの参加については参加していませんでしたが、アンケートには正直に書いて問題ないと思います。

大部屋を区切ったブースのようなところで面接を行うので、他の受験生の声も聞こえてきました。

質問内容は、志望理由や、医師を志した理由、趣味についてなど典型的なものでした。願書に記載した賞状等のコピーを持ってくるように言われますが、私の場合は面接では特に触れられませんでした。時間も短く、雰囲気も和やかでしたので特に問題なく面接を終えることができると思います。

面接試験は10分と短く、また例年二次試験の次の日に合否が出ることから、二次試験を大きく重視しているとは考えにくいです。
典型的な質問に対し、落ち着いて答えられたら問題ないでしょう。

【小論文】
（Ⅰ期）

形式	テーマ型　60分 600字
過去問	・ダーウィンの自然選択の考え方（生き残るのは変化に適応した者）を踏まえ、AIの発展が人類社会や医療に及ぼす影響を考察し、医師を目指す立場から、AIを活用しながらどのように共存していくべきかを具体例を挙げて論じる ・医師の「つながらない権利」について、心身の健康や働き方の改善という利点と、緊急時の患者安全や医療継続への影響という欠点を踏まえ、医師としてどのように考えるかを述べる ・「直美(ちょくび)」という現象が医療に与える影響と課題について、意見を述べる ・マスクを着用している状況下で、より良好な関係を築くためにどのような工夫を行うか ・（医師の男女、年代別絶対数」「県別医師数」のグラフを見て）日本では医師の絶対数の不足に加え、「地域ごとの不足」も問題となっているが、どのような解決方法が考えられるか ・医療人の立場から、アルツハイマー病の新薬をどのように使用するか

▽合格した卒業生のアドバイス

短めの本の引用文を読み、そのあとの質問に対する文章を書きます。

私は質問の解釈に少し時間をかけすぎてしまったので、時間はぎりぎりになってしまいましたが、書く内容が決まればすんなりと終わらせることができると思います。字数もそこまで多くはないので特別な練習は必要ないと思います。

帝京大学医学部

【面接】

形式	個人面接　10分程度 面接官2～3人
過去問	・志望理由（大学、医師） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・将来の夢、将来の展望、理想の医師像 ・高校で頑張ったこと、課外活動について ・部活動について（部長としてやったこと、苦労したこと、部で意見が割れたときどうしたか） ・自己PR ・自分の長所、短所 ・得意教科（科目）と不得意（苦手）教科について ・調査書の内容について（部活動、委員会、その他ボランティアや賞罰等） ・チーム医療とはどのようなものか ・（調査書を見て）高校の成績は良かったのに2年も浪人したのはなぜか（高校卒業後の経歴について） ・体力があるかどうか ・趣味 ・本学について知っていること ・第一志望はどこか、併願校について ・出身高校のPR ・最近の医療ニュースについて （シチュエーション問題） ・学習グループ内の一部の優秀な人が全然話を聞いてくれない場合、どうするか ・グループ作業をしているとき、半分がさぼっている場合、どう対応するか

▽合格した卒業生のアドバイス

大部屋を区切った部屋で数名の受験生が面接を受ける形式でした。他の受験生の声は聞こえなかった印象です。優しく和やかな雰囲気でした。

ぜひ本学に来てください！合格を決めるのは私たちではありませんが‥と言われたため、合格を頂けるのではないかと少し期待していました。期待していた分、結果を見て落ち込んでしまいました。

この経験から、面接での出来事と合否を結びつけて考えない方が良いと実感できました。

【小論文】

形式	課題作文　テーマ型　 30分　300字
過去問	指定されたキーワードを用いてテーマに沿った文章を書く。 ・コロナ禍を振り返り、自分自身が何を失い、何を得たか（キーワード「オンライン」「行動制限」） ・10年後の理想の自分について、専門性と人間性の観点から、キーワードの言葉を用いて述べる（キーワード「体系的知識」「成熟」） ・経済、社会、環境などの様々な課題に対して持続可能な目標を追求することが重要となっているが、あなたの考える持続可能性について述べる（キーワード「科学」「多様性」） ・環境変化により、生態系や人間の健康に支障が出て対策を講じているが、大きな解決には至っていない。これに対する解決策を述べる（キーワード「気候変動」「パンデミック」） ・訪日外国人の増加により、政府は専門職として医療通訳を置くことを検討しているが、翻訳アプリと比較した場合のメリットを述べる（キーワード「日本の医療制度」「文化的背景」）

東海大学医学部

【面接】

形式	個人面接　10～20分程度 面接官2人 ＊地域枠は2回。 　一方で一般的な内容を、他方で地域枠に関する内容を問う
過去問	・志望理由 ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと、大学で頑張れるか ・将来の夢、将来の展望、希望の診療科とその理由 ・高校で頑張ったこと、高校生活について ・部活動について、部活で大変だったこと、これまでに何か運動はしたか ・調査書の内容について ・医師になったら具体的にしたいこと、またそう思ったきっかけ ・気になる（興味がある）医療ニュース ・希望する診療科の医師は何ができそうか ・奨学金制度や地域枠制度の確認（卒業後の勤務制限含む） ・現役の頃の勉強のこと、今年度の科目選択理由 ・家から遠いが大学に入って不安なこと ・自己PR ・本学について知っていること ・医師のプロフェッショナリズムとは ・得意教科、不得意教科 ・コミュニケーションをとる上で大切なこと ・チーム医療で大切なこと ・留年しそうな友人がいたらどうするか ・SNSを使うときに気をつけていること ・見倣うのがいいか、習うのがいいか ・地域医療に必要だと思うこと ・自分の住んでいる市の60歳以上の割合、流行っている病気、特性について

▽合格した卒業生のアドバイス

面接時間の中で、自分自身についての質問がほとんどでした。私の場合は、高校時代の活動に多くの時間を費やしたと思います。いずれの質問も答えづらいものではなく、受験生の話を頷きながら聞いてくれる優しい雰囲気でした。一通り質問に答えた後には、余り時間を使って談笑をしたことが印象的でした。

上記のように全体的に和やかな雰囲気なので、会話の途中で予期していないことを聞かれた場合でも、落ち着いて答えられると思います。特に困るような質問はされないので、自分の考えや思ったことを素直に伝えればよいと思います。

【小論文】

形式	テーマ型 、課題文読解型　45分　500字
過去問	・「「自分」の壁」（養老　孟司著）を読み、臨終間際の治療をどう考えるか ・「平静の心―オスラー博士講演集」を読み、自身は医師として必要な資質をどのように身につけていきたいか ・「生きること学ぶこと」（広中平祐著）の抜粋文を読み、「想像することの愉しさ、喜び」について、体験を含め考えを述べる ・2024年3月21日朝日新聞の天声人語を読み、「大人になる」ということについて、考えを述べる ・「日曜の朝に」（宮木優実 著）の抜粋文を読み、子どもの声を騒音と捉える風潮に対する自身の考えを述べる ・日本一短い手紙コンテストの入賞作を読み、普通とは何かについて考えを述べる

▽合格した卒業生のアドバイス

制限時間が短いので、試験が始まったらある程度時間を決めて取り組むとよいと思います。

課題文読解型で、与えられた文章に対する意見を書く形式なので、特別な対策は必要ないと思います。字数制限と時間配分に注意して考えたことを記述すれば大丈夫だと思います。

東京医科大学

【面接】

形式	**＊2027年はMMI形式で実施する** （過去の形式） 個人面接　10～15分間 面接官3人
過去問	（過去の質問事項） ・志望理由 ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・将来の夢、将来の展望 ・高校で頑張ったこと ・部活動について（美術部でどのような作品を作ったか等） ・だいたい1分で自己アピール（自己PR） ・調査書の内容について ・今日の体調、昨日はよく寝られたか、寝つきはいい方か ・高校でどの教科を学ぶのが好きだったか ・リーダーシップやコミュニケーション能力を発揮した経験はあるか ・自分がリラックスできる時間 ・本学のアドミッション・ポリシーについて ・医師の社会における役割 《課題文（「大きなお世話」）を読み、問いに答える》 ・今まで大きなお世話をしてしまった経験、されて嫌だった経験 ・その時にどうすればよかったか ・患者が必要な補助を拒否した場合はどうするか ・医療において大きなお世話と言われる行為とは

▽合格した卒業生のアドバイス

面接は体育館をいくつかのブースに区切った中で行われたので、雰囲気的にもあまり緊張することなく受験することができました。時間もあまり長くはないため、一つ一つの答えに対して深く突っ込まれるということはありませんでした。

建学の精神など大学に関する質問をされたので、パンフレットやホームページに目を通しておくことをおすすめします。

【小論文】

形式	課題文型　60分　600字
過去問	・『江戸へおかえりなさいませ』（杉浦日向子著）を読み、江戸時代後期の長屋で親密な挨拶が強固な仕切りなったというのはどういうことか説明し、自身の挨拶の例を一つ挙げ、意味や役割について文中の挨拶と比較しながら論じる ・『ひとはなぜ服を着るのか』（鷲田清一著）を読み、文中の「存在と演技が厳密には区別できない」とはどういう意味かを、「存在」と「演技」の定義を踏まえて説明し、経験を交えてその考えについて意見を述べる ・「認知症の人々が想像する世界」（阿保順子 著）を読み、健常者はどのように人と物、物と物を区別しているか、区別がつかない状態になる過程で経験する困難や苦しみとはどのようなものか、また、困難や苦しみが社会の状況と以下に関連するか、の3点を踏まえて考えを述べる ・18歳でハンセン病と診断され、47歳で失明した女性の自伝を読み、「死に切る」についてその意味を説明する。また、困難な状況に置かれた人が笑うにはどのようなことが必要か述べる ・「文章心得帳」（鶴見俊輔 著）を読み、自分や他人が「紋切型でない言葉」を創り出した経験と、それがなぜ「紋切型でない言葉」といえるかを説明をする

▽合格した卒業生のアドバイス

小論文は、字数が多くないので非常に書きやすい印象でした。
したがって、特別な対策をする必要はないと思われます。

東京慈恵会医科大学

【面接】

形式	個人面接 MMI形式7分×6回（概ね、個人面接1回＋課題に対する面接5回） 面接官1部屋に1～2人
過去問	・絵画考察問題、記事考察問題、行動選択問題、医療シチュエーション問題、マルチタスクの課題（何かをしながら質問に答える）などと、一般面接 ・医師の志望理由（医師以外なら何になりたいのかとその理由） ・調査書の内容について ・浪人生活（浪人はどのような期間だったか）について ・併願校とその状況について ・建学の精神を知っているか ・部活動・高校生活について ・大学に入ったら勉強以外で何を頑張りたいか ・将来どのように社会に貢献したいか（大学卒業後の進路） ・予約時間に毎回遅れてくる知人患者から、診療終了後に待ってほしいと言われた際の対応 ・塗り絵をしながら、小中学生の頃のことについての質疑応答し、最後に塗り絵に題名を付ける ・食事制限を守らずベッドにお菓子を隠している糖尿病患者への対応 ・食品ロスに関する文章を読み、問題点と社会的背景を述べる ・自動音声が女声ばかりであることについての記事を読み、読み取れる事実と推察される背景、問題の原因、解決策を述べる ・大人の読書に関する記事を読み、記事からわかる事実と原因と思われるものを述べる ・（絵画考察問題）絵を見て、作者の伝えたいことや抱いた感情を述べる ・友人からのレポート援助要請に対する行動を5つの選択肢から選び、その利点と欠点を答える ・学校の防災訓練が先輩との遊びの予定と重なっていることが分かった時の行動について、5つの選択肢から最適と思うものを選ぶ

▽合格した卒業生のアドバイス

いくつかの部屋を回るMMI方式の面接でした。

各部屋のお題は、調査書をもとにした一般的な質問、将来どのような医師になりたいか、ジレンマ問題（私の場合は、選挙において対立候補から出た信憑性の確かでないスクープを新聞に載せるか　というお題でした。）、表の読み取り、時事問題についての文章を読んで考えることを答える、というものでした。

どの部屋にも十分時間がとられているため、面接官が受験者の答えを掘り下げていき面接が進んでいく印象でした。面接官の先生方は、じっくりと話を聞いてくださる様子だったので、自分の考えていることをきちんと伝える習慣ができていれば特に問題はないと思います。
私は、典型的な質問への回答準備のみに留め、東京慈恵会医科大学の形式に特化した対策は行いませんでした。

【小論文】

形式	課題文テーマ型　90分　1500字（300字＋1200字）
過去問	課題文を読み、自分でテーマを設定して考えを論じる ・課題文の内容についてまとめる（300字程度） ・課題文を踏まえて、自分の考えを論じる（1200字程度） （課題文） ・約束を信頼という観点から論じた哲学者がいるという内容の文章 ・「あたりまえ」を疑う社会学 質的調査のセンス（好井裕明 著） ・幼児期―子どもは世界をどうつかむか（岡本夏木 著） ・つながる脳 （藤井直敬 著）

▽合格した卒業生のアドバイス

コラムの様な課題文が与えられ、その文を読み自分なりに書く内容を決めて進めるという形式でした。したがって、何かの質問に対する答えを書くのではなく、自分で課題文からテーマを設定して、それに対する答えを述べる必要がありました。また、字数も他校と比べて多いのが特徴です。しかし、制限時間も長く設けられているので、じっくりと考えをまとめる時間はあります。課題文から逸れないように注意して文章を作るように気を付ければ特に問題はないと思われます。

小論文を書くにあたって、題名はカッコに入れて書く、題名の説明を次の行に書く、何行あけて本文を書き始める、などといくつか指示があります。その点は十分気をつけて従うようにしてください。

東京女子医科大学

【面接】

形式	個人面接　10～15分　（2026年度　2回） 面接官3人
過去問	・志望理由（本学・医師） ・高校で頑張ったこと、学校・部活動について ・得意教科、不得意教科（なぜ生物を選んだのか） ・調査書の内容について ・理想の医師の姿について（憧れの女性医師像、自身の考える良い医師と悪い医師） ・何科に進みたいか、研究の道についてどう思うか ・機械を用いた医療についてどう思うか ・なにか悩むとき誰かに相談するか、友人が悩んでいた時はどうするか ・ハラスメントについて、自分がされたらどう対応するか ・今までで一番怖かったことは何か ・今までで女性が差別されていると感じた出来事はあるか ・グループ内で意見を出すときに自分が少数派だった場合の対応（親しい人がいた場合等） ・同僚が患者に関する不適切な発言をしているのを見かけた場合の対応 ・医療現場での医師の過労が問題視される中、医師としてやっていけるか ・診察で患者に治療法が最新のものではないと指摘された場合の対応 ・家族や予備校の先生は受験を応援してくれているか

▽合格した卒業生のアドバイス

３人の面接官からそれぞれ質問され、答えていくという形式でした。
特に困るような質問はされないので、自分の考えや思ったことを素直に伝えれば良いと思います。自分の発言から話題を掘り下げられることもあるので、その場しのぎで答えるよりも、自分の考えをしっかりと伝えることが大切だと感じました。

【小論文】

形式	テーマ型　50分　800字
過去問	・「最期を選ぶということ～安楽死のないこの国で」（BSフジ　サンデードキュメンタリー）の内容についての文章を読み、安楽死の合法化についてと身近な人が海外で安楽死をすることを選んだ時の自分の考えを述べる ・AIと医師が協働していると仮定して、両者が異なる治療を提案してきた場合どのように対応するか ・「泥流地帯」（三浦綾子 著）を読み、火災のせいで農業を続けることが難しくなった家族について、考えを述べる ・フードロス対策について ・がんを患った父親が治療をしたくないといった場合に賛成か反対か、また、父親に対する対応で最も重要なことは何か

▽合格した卒業生のアドバイス

小論文は、適性検査と合わせて時間制限があり、あまり時間に余裕はないので、考え込みすぎず自分が感じたことや意見を書いていくと良いと思います。時間は短いですが字数はそんなに多くはないので、意見がまとまり次第書き出せば時間内に書き終えられると思います。

適性検査と小論文はどちらから取り組んでも良いので、先に適性検査をさっと終わらせてから小論文に取り組むと良いと思います。
小論文のテーマは典型的で書きやすいため、特別な対策は必要ないと思います。

東邦大学医学部

【面接】

形式	（集団討論） 受験生4人　15～20分程度 面接官2～3人 （個人面接 ） 個人面接　 MMI形式3分×4回 面接官1人
過去問	（集団討論） ・東邦大創始者、額田晉の言葉についての文章（人間の最大の特徴は高い知性と倫理観をもって文化を創り出し、より良い社会（理想）を目指す点にあるという趣旨）を読み、人類の特徴について考えをまとめ、グループとしての主張を答える ・科学が人類にどのような影響を及ぼし、人間が科学とともにどのように進歩してきたかについて議論する ・詩を読み、タイトル、感じたこと、作者が言いたいことをそれぞれ考えて発表し、4人で議論する ・写真を見て、思ったことをそれぞれ述べた後、話し合ってこの写真の捉え方をまとめ、題名を付ける （MMI） ・動物の写真を見て、どうしてそのような行動をとるか推論し、実証方法を述べる ・子宮頸がんワクチンの公費化について ・外国からの転校生にタトゥーが入っていた場合どうするか ・いつもアルバイトに遅刻するAさんに対し、Bさんがいった言葉について、どう対応するか ・感染症の同時流行に際し、個人としてできること、医療従事者として問題となること、社会としてできることを答える ・１型糖尿病の級友がいるとき、その人が学校生活で困ること、級友としてできること、クラスにそのような人がいることの意義を答える ・文化祭の準備で諍いが起きた場合の行動 ・部活の試合に部員が遅刻し、それを別の部員が非難した場合の行動 ・8020運動について ・遠隔診療について

▽合格した卒業生のアドバイス

MMIでは、前のMMIが終わってから廊下の椅子で次のMMIを待っている1分間弱、問題を読む時間がありました。

部屋に入ってからも問題を読む時間が与えられます。テレビ画面のようなものに現在時刻が映し出されていましたが、光が反射して全く見えないことがありました。

早く答えて時間が余ると、資料に関連する質問や、今日の試験の感想などを聞かれました。

５人１グループで行う集団面接と、いくつかの部屋を回るMMI方式の二種類の面接を行いました。

集団面接では課題が与えられて、それをグループで話し合い、最後に結論を面接官に伝えるという形式でした。
面接官から最初に進行役を決めるようにという指示がありますが、リーダーシップを求めているわけではないため、進んで進行役になる必要性はないと思います。進行役になった際は、グループ全員の意見をバランスよく聞くよう心がけましょう。また、就活とは違い、グループ内で目立つ必要もありませんので、無難な意見でも心配せず発言しましょう。
意見を出し合う場面では他人の意見をくみ、さらに自分の意見も言えるように心がけるようにしました。お互いの意見を尊重する姿勢が重要視されているので、自分と意見が異なる人がいた時は対応に注意しましょう。

MMI方式の面接では、5つぐらいの部屋をまわりました。それぞれの部屋でお題が与えられ、それに答えていきました。

具体的には、4コマ漫画を見て登場人物の心情を考える、与えられている歴史的や時事的なキーワード（南北戦争、クラウドファンディングなど）を説明する、倫理的な問題について自分の意見を述べる（副作用は強いかもしれないが効果のある薬を使うかなど）、電話対応のシュミレーションでした。

MMIでは細かい知識を問われることもありますが、知識の有無で不合格になる可能性は非常に低く、むしろ知らないことを聞かれたときの対応が見られていると言えます。
うまく回答できなくても特に気にすることなく、分からない問題でしたらはっきりとわからないなどと言うのも大切だと感じました。

過去には、MMIでほとんど何も知らずに全部「知りません」と回答したらさすがに面接官に笑われてしまったという卒業生がいましたが、結局正規合格でした。

【小論文】

実施なし

日本大学医学部

【面接】

形式	個人面接　15～20分程度 面接官3人
過去問	・志望理由（大学、医学部、医師） ・将来の夢、将来の展望、どんな医師だと患者に言われたいか ・調査書の内容について（出願時に提出した主体性・多様性などの記述） ・部活動、高校時代について（高校で頑張ったこと、勉強以外でがんばったこと） ・最近の世界情勢について気になることは何か（なぜそうなったか、現状をどうすればいいか） ・勉強ツール（アプリや生成AI）でお勧めはあるか、利用上の注意点、指導教官が断固反対していたらどうするか ・スマートフォンのいい所と悪いところ（利点、欠点） ・言葉でのコミュニケーション手段がない中で、考えの異なる相手と緊急で考えを擦り合わせる場合どうするか ・周りの人は自分をどう思っているか、その評価について自分ではどう思うか、医師としてどのように役に立つか ・集団で自分の意見が通らなかったとき、どのように自分を納得させるか ・最近最も嬉しかったこと、最も悲しかったこと ・チーム医療とはどのような存在か、どのように行うべきか、医師の役割について ・美容外科医についてどのように考えるか（責任感がある美容外科医もいるがどうか） ・医学生になったら何を心がけていきたいか、今から大学入学までの1カ月間で何をしたいか ・体力をつけるために今まで何をしたか、これから何をしていきたいか ・心肺蘇生中止の判断と家族の希望（医療従事者は助からないと判断したが、母親が蘇生継続を求めている場合どうするか） ・目の前で人が倒れていたらどうするか（行動方針や応急処置講習の経験） ・少子高齢化に伴う医療費負担の増加と、今後の医療費のあり方について ・医学部入学後や医師免許取得後に燃え尽きてしまう人が多いが、自分はどうか ・受かったら入学するのか、受験は順調か ・得意教科、不得意教科 ・短所について、どのように気をつけているか

▽合格した卒業生のアドバイス

３人の面接官からそれぞれ質問され、答えていくという形式でした。

典型的な質問をされますが、自分の言ったことが曖昧であったり特徴的であったりすると深く掘り下げられる可能性があります。答えづらい質問がいくつかありましたが、自分の回答に関連した内容について聞かれたので、願書に書く内容と自分の発言にはしっかりと根拠をもつことが大切だと感じました。
答えづらい質問をされても必要以上に焦らず、答えられる範囲で回答すればよいと思います。

【小論文】
実施なし

日本医科大学

【面接】

形式	（前期） 集団討論　受験生（前期）4～6人　（後期）7～8人　30～40分程度 面接官3人 個人面接　10～15分程度 面接官3人
過去問	（集団面接） ※1人ずつ割り当てられた立場に立ってテーマに対する意見を述べ、自由討論を30分ほど行い、最後にグループ代表者が総括する ・挑戦とは ・貧困とは ・安楽死の合法化について ・持続可能な医療と社会保険制度について ・50年後の日本の医療について ・日本の少子化問題について （個人面接） ・大学卒業後の進路 ・将来の夢、将来の展望 ・高校で頑張ったこと、高校生活について ・長所、短所 ・得意教科、不得意教科 ・共通テストの点数（共通テストの出来） ・併願校について ・集団討論の出来（討論のテーマについて、討論の感想） ・志望理由（大学、医師） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・部活動について ・調査書の内容について ・最近感動したこと ・医師以外の職業なら何になりたいか ・浪人生活で学んだこと ・大学の勉強で大変なとき、どう乗り越えるか

▽合格した卒業生のアドバイス

（前期）
集団討論は、スティグマについて説明を受けた後、スティグマをなくすにはどうすれば良いかを1人ずつ述べ、その後集団で話し合いを行いました。何か答えを見つけるのではなく、スティグマをなくすにはどうすれば良いかを意見を出しながら考えていく形式でした。討論中、試験官からの指示は特にありませんでした。

5人で行うグループ面接と個人面接の2種類を行いました。

グループ面接では、3人の面接官が進行を行い、受験者はそれに沿って挙手をして発言するという形式でした。面接官が進行をしてくださるので、特に自分で仕切ろうとする必要はないです。他人の意見を尊重しつつ自分の意見を言えるように心がければ問題ないと思います。面接官は何度も、意見の内容は評価に影響しないとおっしゃっていたので、自分の意見が時間内に言い切れなくても大丈夫だと思います。

個人面接では、グループ面接を行った時と同じ部屋、面接官で行いました。時間は5分程度なので、典型的な質問しかされませんでした。

集団面接と個別面接を行うという、やや特殊な形式ですが難しいことを聞かれるわけではないので特別な対策は必要ありません。また、面接も和やかな雰囲気で進んだのでリラックスして受験することができると思います。

（後期）
個人面接は、自分の回答に対し突っ込まれることはほぼなく、和やかな雰囲気でした。

集団面接は、1つのテーマに対し受験生の意見を述べていく形式でした。
自分の意見に対し、他の受験生から反論が出ることもありますが、焦らず落ち着いて対処すると良いと思います。相手の意見を取り入れた譲歩案を出す等、相手の意見を尊重する意見を出すのもおすすめです。
沈黙になってしまった時は、面接官が話題を提案してくれたりもして、和やかな雰囲気でした。

面接のテーマは知識を問うものではないため、特に準備をすることはないと思います。
本番は自分の意見を押し通そうとせず、周りの意見を取り入れながら主張すれば良いと思います。

【小論文】

（前期）

形式	（前期） テーマ型、図版型　60分　600字
過去問	（テーマ型） ・国民医療費が年々増加する一方、経済格差によって生じる「健康格差」が問題化しているが、経済格差の拡大がもたらす社会的・医療的影響について考えを述べる ・下級生に「挨拶する意味って何ですか？」と聞かれたが、どう答えるか ・自殺ほう助は合法化されるべきか ・患者は医師の外見を尊重するというデータもあるが、医師は個性的な外見を出すべきか （図版型） ・スマートフォン使用時間別孤独感のグラフを見て、考えを述べる ・AIが絵画などの芸術作品に使われることに関する問題（画像生成AIの描いた絵画が問題文に印刷） ・人口100人とした場合の日本の人口、福祉保健などの実態を示した資料から、日本社会の課題と対策について述べる ・運動部顧問として、メンバーの特徴の表を見て主将・副主将を選び、考えを述べる

（後期）

形式	（後期） 90分　600字 文章（5-10枚程度）が配布され、読む時間を与えられる。（25分） その後、回答用紙が配られ、著者にあてた感想や意見を書くよう指示される。（60分）
過去問	・「嫌われる勇気」（古賀史健著）の抜粋文を読んで、「医師の本質」について述べる ・「死とは何か」（シェリー・ケーガン著）の抜粋文を読んだ後、配布される問題に解答する ・「外から見た日本の文化」（ドナルド・キーン著）を読んで、筆者への手紙として感想を書く

▽合格した卒業生のアドバイス

（前期）

受験日によって絵をみて思ったことを書くという形式とテーマに対して自分の意見を述べるという形式の2パターンがあります。字数はそこまで多くなく、絵やテーマも書きやすい題材なので特別な練習は必要ありません。

（後期）

問題文の難易度としてはそこまで高くなく、丁寧に読めば内容はつかめます。
ただしボリュームがかなりあるので、時間はタイトだと感じました。
制限時間に気を付けつつ、要点をつかむのが良いと思います。
意見を書く際は、自分の意見が明確に伝わるよう、「分かりやすさ」を意識して書きました。
特別な対策は必要ないと思われます。

聖マリアンナ医科大学

【面接】

形式	個人面接　　15分程度 面接官3人 ＊面接の参考として、適性検査（30分）
過去問	・志望理由（医師を志した理由、大学に入ってやりたいこと、学びたいこと） ・将来の夢、将来の展望、理想の医師像 ・高校生活、部活動について ・長所、短所（短所とその対処法） ・調査書の内容について（英検の記述から英語が得意か等） ・部長として苦労したこと、後輩と接するうえで気を付けたこと、部をまとめるのに苦労したエピソード ・どの地域でどのような医師として働くか（希望の診療科とその理由） ・小児科医として、医学的判断と親御さんの意見が食い違ったときどうするか ・何か言い残したことはあるか ・最近関心を持った科学・医療系のニュースについて ・自己PR ・大きな壁にぶつかったことはあるか、どのようにして乗り越えたか ・人として大切なことは何か ・適性検査について ・小論文はどうだったか ・誰に相談をするか ・集団行動する際に活躍したことはあるか ・意見が合わない人と仕事をするときどうするか ・チーム医療についてどう思うか

▽合格した卒業生のアドバイス

面接官は常にメモを取っていて、受験生の考えをしっかり聞いている印象でした。所々で準備していないことを聞かれることがありましたが、自分の意見を素直に伝えると掘り下げられた場合にも答えやすいので、落ち着いて考えを伝えることが大切だと感じました。

志望理由のような典型的な質問に対する回答を準備しておけば大丈夫ですが、単科大学であることが特徴の一つなので、パンフレットに目を通しておくと良いと思います。願書に書かれていないことを聞かれることが多いので前もって準備できることは少ないですが、自己PRについては一度時間を計ってみると本番聞かれたときに話しやすくなると思います。

【小論文】

形式	資料・テーマ型　60分 800～1000字程度
過去問	・外国人労働者の受け入れの是非について述べる ・高齢化社会におけるデジタルデバイドの課題と解決策について述べる ・医療の向上と地域偏在の解消にむけ医療機関の整備がすすめられてきたが、維持には様々な課題が指摘されている。これを解決にむけて提案するアイディアを一つ挙げ、そのねらいを述べる ・すべての国民が最良の医療を受けられるためにはどうすればよいか ・高齢者ドライバーによる交通事故の問題を解決するにはどうしたらよいか ・日本の医療制度の長所と短所を他国の医療制度と比較して述べ、改善したほうがよいと考える点について述べる ・資料を参考に、OECD加盟国の中で他国と日本の急性期患者の平均在院日数や平均病床数、人口千人における平均医師数などを比較して、読み取れることとこれからの日本の医療提供について考えを述べる

▽合格した卒業生のアドバイス

短く抽象的な詩を読んで、考えたことや感じたことを述べるものでした。独特な詩でしたが指示が少なかったので、単語から想像したことを述べたり、自分自身と結びつけて考えたり、自由に書けるものでした。

テーマは独特でしたが、小論文の基本的な書き方はほかの形式と同じなので、小論文対策は基本的なこと（字数を守る、時間配分をするなど）で十分だと思います。

自治医科大学

【面接】

形式	■一次試験 ＊面接シート　30分 個人面接　10～20分 面接官3～7人 ■二次試験 集団討論　受験生4～6人　20分程度 面接官3人 個人面接　10～15分 面接官3人 ※集団面接と個人面接は都道府県単位で行う
過去問	■一次試験 （面接シート） ・志望理由 ・自己PR ・出身都道府県の好きなところ ・これまでの経歴、部活動、活動、頑張ったこと ・併願校 ・趣味特技等 （個人） ・志望理由 ・自治医科大学の良いところ、他の医学部（他大学の地域枠）との違い ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと（勉強以外でやりたいこと） ・大学卒業後の進路、将来の夢、将来の展望 ・高校で頑張ったこと、これまで頑張ったこと、部活動について ・自己PR ・長所、短所（短所や苦手なことに対してどう取り組むか） ・調査書、面接シート・自己紹介カードの内容について ・医師になりたいと考えた理由や体験 ・医師にとって必要な資質 ・もし都会の病院で働くことになったら ・AIが発達した場合にも医師が必要な理由 ・自分の希望科（専門医になれない診療科）に進まなかったらどうするか ・僻地に対する抵抗はあるか、地域医療に携わる中で不安なことはあるか ・どのような力が地域医療に必要か、実際どのようなことをするつもりか ・自分の県の医療の問題と解決策 ・修学資金制度について理解していること ・義務年数（義務年限9年）について、9年間の後はどうするか ・他大学に受かったらどうするのか（第一志望はどこか、入学意思確認） ・寮生活だが大丈夫か ■二次試験 （集団） ・性自認が女性で身体的性別が男性の患者が、経済的理由で個室ではなく女子病棟への入院を希望した場合、医師としてどう対応するか ・少子化対策の方向性と、その一環としての移民受け入れに対する考え （個人） ・集団討論の感想 ・志望理由（なぜ自治医大を志望したのか） ・本学の印象

	・合格したら入学するか（併願校が全て受かったらどうするのか） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと（勉学以外も） ・将来の夢、将来の展望（自治医大に入って何か夢があるか） ・高校（学校）生活で頑張ったこと、部活動について ・自己PR ・長所、短所 ・調査書の内容について ・自治医科大学の建学の精神とは何か、それを踏まえ自身が自治医大に適している点 ・尊敬する友人について説明、その人の欠点 ・今まで友達関係でのトラブルがあった、あるいは巻き込まれた経験はあるか ・公平性を保つために苦労したこと、またそれに対してどう取り組んだのか ・地域医療についてどう理解しているか、またどうあるべきか ・専門医として働きたいか、総合医をめざすのか ・寮生活で不安なこと、楽しみなこと、寮生活に求めること

【小論文】
実施なし

愛知医科大学

【面接】

形式	個人面接　10～20分 面接官3人
過去問	・志望理由（併願校、同じ県内の医学部を選ばない理由） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと（大学卒業後の進路） ・将来の夢、将来の展望（志望診療科でやりたいこと、今後の研究のアイデア） ・高校で頑張ったこと、部活動について（部活をしなかった理由、大学でやりたい部活） ・自己PR、長所・短所 ・得意教科、不得意教科 ・調査書の内容について（欠席日数が多かった理由等） ・浪人生活はどうだったか（一番成長を感じたこと、成績の変化） ・あなたにとっての普通とは（普通という言葉の定義、普通ではない人と接する方法） ・努力は好きか（最近一番努力したこと、努力したがうまくいかなかったこと） ・嫌いなことを頑張ることができるか、役に立たないと思ったものやこと ・好きと嫌いの違い ・医学生として大学側にどのようなことを求めるか ・チーム医療であなたはどのような役割を果たせるのか ・いい患者と悪い患者について ・絵を見て思うこと（社会を切り取って絵を描くとしたらどのような物事を切り取るか） ・大学受験の勉強と大学での勉強の違い（大学での勉強がうまくいかなくなる理由と対処法） ・医師になるメリットとデメリット ・現段階であなたが最も成長させるべきものは何か ・治療が難しい状況の中で患者が取り乱した場合、どう対応するべきか

【小論文】

形式	課題文読解・テーマ型　60分　600字
過去問	・「幸福とは何か」（森村進 著）を読み、本文中の人物が幸福と考えるか ・「生きる言葉」（俵万智 著）を読み、本文から読み取れる現代社会のコミュニケーションの問題についてどう考えるか ・「私が正義を語るなら」（やなせたかし著）を読み、「健康な社会」について、経験を踏まえて考えを述べる ・「父が息子に語る 壮大かつ圧倒的に面白い哲学の書」（スコット・ハーショヴィッツ著）を読み、なぜ人は傷つくか、類似例を挙げて考えを述べる ・「論理的思考力を鍛える33の思考実験」（北村良子著）を読み、本文中の「あなた」の状況に類似したものを挙げ、説明する ・「プー横丁にたった家」（石井桃子訳）のを読み、何もしないでいることについて考えを述べる ・「ものの見方が変わる 座右の寓話」（戸田 智弘）を読み、寓話が伝えようとしている教訓について、考えを述べる

金沢医科大学

【面接】

形式	集団討論 受験生4～5人 20分程度 面接官3人
過去問	＊はじめに別室で課題文を読み、メモを取る（数分間）。 　その後、メモを持って面接室に移り、各自の机の上にある質問シートについて、答えと討論したいテーマを考える（2分）。 　順番にそれらについて答えた後、自由に討論する。 （前期） ・患者の意思を文書ではなく、家族や医療従事者などと繰り返し対話する人生会議が普及してきた。高齢化と医療のリソースの制限により、望まない治療を受ける患者もいる。繰り返し対話することにはどのような効果があるか ・工学部3年から医学部に編入した学生が、結果のみ答える形式の試験（過程は不要）に疑問を感じたことについて ・地下にずっといると一日の周期が25時間になることについて ・医師と患者のコミュニケーションのとり方 ・末期がんの患者に対する医師の姿勢について ・「医師は客観的・生物学的視点で、患者の状態を診断するのみならず、患者主体の発言を聞いて症状を診断する必要がある」について ・「ヒトチャレンジ」について （後期） ・集団主義と個人主義について ・サッカーファンの暴走と、責任の所在について

▽合格した卒業生のアドバイス

金沢の集団面接は、たくさん発言する必要はなく、他の受験者の話をしっかり聞いて、それを踏まえて自分の意見を話せていれば大丈夫だと思います。実際、私は一緒に面接をした四人の中で発言回数は最も少なかったですが、正規合格できました。

【小論文】

形式	課題文読解・理科論述型　60分　400字（200字×2問）
過去問	課題文を読み、要約（200字） 課題文と関連する資料（図、グラフなど）をみて、説明・考察（200字） ・「みずからの「きこえ」イヤフォンによる「聴力」と「補聴器」」（瀬野 豪志 著）を読み、補聴器販売の資格の有無と、日本の補聴器使用の満足度について考察する ・「移動と階級」（ 伊藤将人著）を読み、オンライン診療と医療過疎の解消について考察する ・「疑似科学と科学の哲学」（伊勢田哲治 著）を読み、頭痛薬の実験から、薬の主効果と偽薬効果について考察する ・「公衆衛生の倫理学」（玉手 慎太郎 著） ・「医療現場の行動経済学: すれ違う医者と患者」（大竹 文雄, 平井 啓 著） ・「世界100年カレンダー」（河合雅司 著）

藤田医科大学

【面接】

形式	個人面接　（MMI）5分程度×2回、（一般面接）15分程度×2回 面接官1人 （地域枠は上記に加えて、集団面接（受験生5人　面接官1～2人　15～25分程度）
過去問	（MMI） ・文化祭で友人の兄から18万円の支援を受けて成功し、6万円が余った。余ったお金の使い道を複数挙げ、それぞれの選択肢を比較して説明 ・絵、写真を見て、そこから考えられるストーリーやその後どうなるかを答える（砂浜にある壊れた船とそれを見て頭を抱えている人　など） ・クラスのSNSにAさんへの好意を示す投稿があり、Bさんの投稿と気づいたが何もしなかった。その後、自分が投稿したという噂が広まり、Bさんには否定され、Aさんにも誤解される中、どう対応するか ・数日かけレポートを完成させたが、締切前日、留年がかかった友人から「何を書けばよいか分からない」と見せてほしいと頼まれた。しかし、教授から同じ内容のレポートは0点にすると言われている場合、どうするか ・国境なき医師団で酸素ボンベが一つしかなく、助かる可能性が低い男児に使用している。他の多くの患者を救うこともできる場合、酸素をどう配分するか ・世話になっている先輩に闇バイトらしきものに誘われたらどうするか （個人面接） ・志望理由（自分が答えた志望理由に関連することについて） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと（大学卒業後の進路、将来の夢、将来の展望） ・高校で頑張ったこと、部活動について ・自己PR、長所・短所 ・調査書の内容について ・本学に初めて来た感想（今日はどうやって来たのか、昨日は休めたか） ・アドミッション・ポリシーの中で自分が満たしていると思うもの、それについてのエピソード ・机上に置かれている誓約書（名札着用・喫煙等）を守れるか、守れなさそうな内容はあるか ・僻地医療をしたいか ・研究医について ・卒業後、名古屋に残るか ・国公立出願先について （地域枠 集団面接） ・大学卒業後の進路 ・調査書の内容について ・地域枠の志望理由 ・現時点での希望診療科について

【小論文】
実施なし

関西医科大学

【面接】

形式	個人面接　10～15分 面接官3人
過去問	・志望理由（大学、医師） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・大学卒業後の進路、将来の夢、将来の展望 ・高校で頑張ったこと、部活動について ・調査書の内容について ・浪人はどうだったか ・将来何科で働くか（希望の診療科） ・医師の言うことを聞いてくれない患者がいる場合どうするか ・正しさと優しさはどちらを優先するか ・AIが奪う医師の仕事は何だと考えるか（AIとの役割分担について） ・出身地の医療問題について知っているか（出身県で働きたいか） ・本学の建学の精神、教育理念について ・自己PR ・長所、短所 ・得意教科、不得意教科 ・併願校について ・学科試験の出来 ・親しい友人はいるか、またどのような人物か （資料読んで、意見を述べる） ・資料の筆者は学び方には①本を読む、②人に聞く・経験する、③できる人を真似るの3通りあると述べるが、あなたはどう学ぶか ・もし自分の研究を悪用されたらどうするか、また、現在研究が悪用されている例を挙げる ・報道などで客観的な意見が述べられていることに対して批判的な文章を読み、それについてどう考えるか ・災害の報道についての文を読み、どう考えるか ・患者さんによりそう、ということについてどう考えるか ・規則と自由についての文章を読み、自由と規律についてどう考えるか

【小論文】

実施なし

大阪医科薬科大学

【面接】

形式	個人面接　10分程度 面接官2～3人
過去問	・志望理由 ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと（大学卒業後の進路） ・将来の夢、将来の展望 ・高校で頑張ったこと、部活動について ・自己PR ・調査書の内容について（高校の出席日数や成績について） ・得意教科、不得意教科 ・予備校での成長について ・医学部以外の学部に受かった場合、進学するか ・小論文の内容について（何を書いたか簡潔に説明する） ・アドミッションポリシーの「表現力のある人」に関連して、表現が上手くいった経験と表現力向上の取り組み ・理想の医師像について ・長所、短所 ・併願校にも合格した場合、どこに進学するか ・医師に必要な資質について ・大学ではどの部活に入るつもりか

【小論文】

形式	テーマ型　30分　400字
過去問	・日本の出生数と，ペットの新規飼育数の推移のグラフを見て、どう考えるか ・オンライン授業による学びと対面授業による学びの活用について ・街の本屋さんは必要か ・医師としてのワークライフバランスについて ・あなたの考える豊かな生活について ・お墓は必要か ・マイナンバーカード制度は必要か

兵庫医科大学

【面接】

形式	個人面接　10分程度 面接官2人
過去問	・志望理由 ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・大学卒業後の進路 ・将来の夢、将来の展望 ・高校で頑張ったこと、部活動について ・自己PR、長所・短所 ・得意教科、不得意教科 ・調査書の内容について ・志望する診療科とその診療科の知識 ・臨床か研究か ・AIの医療利用について（利用できる点・できない点、医療行為に携わることに対する考え） ・地域格差や地元の医療について（へき地医療の改善） ・最近気になった医療系ニュース

【小論文】

形式	課題文読解型　60分 内容・理由の説明（4～5問程度）数十字程度 意見論述（1問）　400～500字
過去問	課題文 ・「データから事実を読み解くスキル」（松本健太郎著） ・「時計の針はなぜ右回りなのか」（織田一朗著） ・「“有効求人倍率”が高ければ景気は回復していると言えるのか？」（松本健太郎 著） ・「視覚化する味覚　食を彩る資本主義」（久野愛 著）

近畿大学医学部

【面接】

形式	個人面接　10分程度 面接官2人
過去問	・自己PR ・責任感について ・学生としてAIをどう使うか ・医師となったときにAIをどう使うか ・達成しないといけない目標の7割くらいしか達成できていないとき、どうするか ・志望理由（医師、本学） ・将来の医師像 ・長所、短所 ・部活動について ・将来は臨床医か研究医か ・最近気になる医療ニュース ・医師と看護師の協働に大切なこと ・うまくいかないことはあったか、今までにそういった失敗などをどう乗り越えてきたか ・同僚の担当患者が自殺した場合、同僚にどのように接するか ・誰か一人にとても大変なことを任せなければならない場合、どうするか ・後輩がミスをしたらどうするか ・外来で来た患者に誤って違う薬を出してしまったらどうするか ・リーダーを選ぶときに気をつける点 ・がん治療を受けたがらない患者がいたらどうするか ・安楽死と尊厳死の違い ・出生前診断について

【小論文】

形式	テーマ型　40分　400字
過去問	・医療の専門化が進む一方、ニーズに応じた診療を行う総合診療の重要性が高まってきているが、双方の診療のバランスについて思うところを述べる ・利他的な考え方をすることが、自分自身の人生に及ぼす良い面と悪い面について、具体例を挙げて意見を述べる ・大学病院の専門医と地域医療の医師では、必要な考え方、身に着けるべき力にどのような違いがあるか ・認知症患者に認知症という病気を説明するべきか。する場合はどのように説明するか ・良医への学修を始めるにあたって、自身の課題や問題点、また、それを克服するために実行しようと考えていることを述べる

川崎医科大学

【面接】

形式	個人面接　10～15分程度 面接官3人
過去問	・志望理由 ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと ・大学卒業後の進路、将来の夢、将来の展望 ・今の人格の形成に影響した本や人物（愛読書から学んだこと） ・足が不自由な人に手を貸そうとして怒鳴られた場合、何と返すか ・面接官が余命半年の膵臓癌だと診断された患者だとして、どのように声をかけるか ・80代の延命希望患者と20代の飲酒運転事故患者で呼吸器が1つしかない場合、どちらに使用するか ・建学の理念の一つ、「人をつくる」とはどういうことか ・答えのないこと、未知のものに遭遇したときにどうするか ・嫌いな人はどのような人か ・グループで意見の違いがあったらどうするか ・良いコミュニケーションをとるために重要なこと ・調査書の内容について（高校生活、部活動について） ・寮生活の確認、規則を守れるか ・浪人生活について ・チーム医療における医師の役割 ・体力維持の方法 ・特技について ・リーダーになった経験はあるか、リーダーの経験を医師の仕事に生かせるか

【小論文】

形式	課題文読解・テーマ型　50分　800字以内
過去問	・「AIに収奪されない〈はるけきもの〉の大切さ」（西原 廉太著）を読み、生成AIを活用しつつ、一次情報で自ら考え、リベラルアーツを通して自分らしく生きる力を養うことが重要であるという主張について、意見を述べる ・「からだ・こころ・生命」（木村敏著）の抜粋を読み、「医者と患者が二人称関係に立つとき、はじめて生と死がアクチュアリティを示す」について考えを述べる ・「知的創造のヒント」（外山滋比古著）の抜粋を読み、「自覚しないところで随分創造的なのである」について考えを述べる ・「現代語訳 学問のすすめ」（ 福澤諭吉 著, 斎藤孝 訳）を読み、考えを述べる

産業医科大学

【面接】

形式	個人面接　20分程度 面接官3人
過去問	・志望理由（本学、医師） ・高校で頑張ったこと、部活動について ・自己PR（自分が成し遂げてきたこと） ・長所、短所 ・調査書の内容について ・本学を知ったきっかけ ・産業医とは、仕事内容、今後について ・修学資金貸与制度について ・キャリア形成プログラムについて ・大学卒業後の進路 ・併願校について ・ストレス解消法 ・悩みごとを相談する相手 ・気の合わない人との付き合い方 ・苦手な人がチームにいたらどうするか ・チーム医療について ・一人暮らしに関する不安 ・遠方へ来ることへの親の心配について

【小論文】

形式	資料読解型　120分 大問3～4題、各題1～2問　それぞれ200字～400字程度 資料を読解し、内容説明、意見論述する
過去問	・「思考のエシックスー反・方法主義論」（鷲田清一著）を読み、医師を目指す者として，生命医療技術の進歩がもたらす「恩恵」と「倫理」との関係をどのように考えるか ・病院見学実習の際に患者から病名を教えてほしいと求められた医学生の事例から、医学生として患者との関係における倫理的考慮、学生としての役割と限界を踏まえ、不安に配慮しながらどう対応するか、考えを述べる ・「NEXUS 情報の人類史（下）AI 革命」（ユヴァル・ノア・ハラリ著）を読み、AIの代替可能性で誤解されている点を説明し、AIに代替できない技能として医師が身につけるべきものは何か、考えを述べる ・「背信の科学者たち」（N.ウェード著）を読み、実験や観測に基づく科学におけるガリレオ、ニュートンの行為の＋とーの側面について、考えを述べる ・「みんな違ってみんないい」のか?―相対主義と普遍主義の問題」（山口裕之著）を読み、両立しない意見から一つを決めなければいけない場合、どうすればよいか ・「医療スタッフのための 動機づけ面接法　逆引きMI学習帳」（北田雅子、磯村毅著）を読み、配偶者のダイエットを成功させるためどのようなアドバイスをするか ・がんの統計資料（日本の主要死因別死亡率の推移）を見て、読み取れる特徴、変化を記述する

久留米大学医学部

【面接】

形式	個人面接　10分程度 面接官3人
過去問	・志望理由（医師、本学） ・将来の夢、将来の展望（何科の医師になりたいか、どこで研修医をする予定か） ・高校で頑張ったこと、高校生活で1番楽しかったこと ・部活動について ・自己PR、長所・短所 ・調査書の内容について ・仁とは何か ・人の気持ちを考えることについて ・医師に1番必要な能力は何か ・医師になる上で今自分に足りないと思う力 ・地域医療についてどう思うか（東京の医療と地域医療の違い） ・直美についてどう思うか ・写真（腹痛を訴える女性とヘラヘラしている研修医）を見て、医師の問題点や患者の気持ちについて ・理想の医師像 ・本学で学べるチーム医療は何か ・Research Mind Cultivation Program (リサーチマインド育成プログラム)について ・医師の働き方改革についてどう思うか ・協調を乱す人にどう対応するか ・併願校について ・趣味、ストレス解消法

【小論文】

形式	テーマ型　60分　800字
過去問	・信頼はどのようにして生まれるか ・人を助けるとはどういうことか ・ジェンダーと医学：女性医師の増加がもたらす医療の変化 ・医療と介護、福祉の連携について ・治療と仕事の両立支援における医師の役割 ・医師に必要な資質・適性とは何か

福岡大学医学部

【面接】

形式	集団討論・面接　受験生4～6人　40～50分程度 面接官3人
過去問	・大学卒業後の進路 ・自己PR ・チーム医療における医師の役割 ・医師がSNSを使うことについてどう思うか ・外国人労働者の受け入れの是非 ・介護業界における外国人労働者の受け入れについて ・志望理由（大学、医師） ・教師より医師の方が給料が高いがそれは妥当だと思うか ・医師の偏在とその解決策 ・美容整形医の増加と理由、デメリットについて ・救急車の有料化について ・AIの導入によって医療や医師の仕事に変化は生じるか ・国民皆保険について ・災害医療について、医学生の役割 ・臨床と研究のどちらに興味があるか ・総合医と専門医どちらになりたいか ・ジェンダーギャップについて ・高齢者の自動車免許返納について ・介護殺人や児童虐待はなぜ起きるか ・医師が趣味を持つことの是非 ・大学に入ってから勉強以外でやりたいこと

【小論文】

形式	課題文読解型　50分　600～700字
過去問	・「国立大病院経営ピンチ　赤字総額200億円超」（産経新聞25/6/11記事）を読み、私立大学病院も経営危機に直面しているが、自身の意見を述べる ・「介護現場カスハラ深刻」（山梨日日新聞24/ 2/3記事）を読み、介護現場で「カスタマーハラスメント」がおこる理由と起こさないための対策について考えを述べる ・「働きながら介護9兆円損」（東奥日報 23/4/8記事）を読み、介護による経済面の損失を減らすための対策について、考えを述べる ・「徹底調査 子供の貧困が日本を滅ぼす 社会的損失40兆円の衝撃」（日本財団子どもの貧困対策チーム 著）を読み、教育機会の損失が及ぼす影響と対策について、考えを述べる

防衛医科大学校

【面接】

形式	個人面接　15～20分 面接官3人
過去問	・志望理由（医師、防衛医科大学校） ・大学に入ってやりたいこと、学びたいこと（大学の特色） ・大学卒業後の進路、将来の夢、将来の展望（どのような医師をめざすか） ・高校で頑張ったこと、部活動について ・長所、短所（短所を改善するためには） ・得意教科、不得意教科 ・調査書の内容について ・償還金の制度について説明（名前、過去最高額） ・2回留年したら退学になるが、入校した後にどのように過ごしたら留年を避けられると思うか ・集団生活で身につける必要のある能力（気をつけていきたいこと） ・バイト禁止や髪染め禁止の校則についてどう思うか ・災害派遣と国際平和活動について分かること ・医官として国民から期待をされることになるが、心がけていきたいこと ・公務員として気をつけること（公務員がしてはいけないこと2つ） ・（医官ではなく）自衛隊の仕事内容を知っているか ・幹部自衛官に必要なものは何か ・自衛隊に入ることや寮生活に対する親の許可はあるか ・最近気になったニュース（災害派遣、海外派遣、医療に関して） ・志望校の順位についての確認（全てに受かったらどうするか） ・学業がうまくいかなかったらどうするか ・防衛医科大の印象 ・自己PR ・医師と医官の違い、医官の仕事や魅力について ・防衛医学をどのように解釈しているか ・国を守るとは何か

【小論文】

形式	課題文読解型　45分　600字
過去問	・「老化は治療できるか」（河合香織 著）を読み、「老化」について自身の考えを述べる ・「テクノ新世 もっと人間らしく(3)　兄のドナーとして産まれた」（日経新聞R6.6.19）を読み、「生命倫理」について考えを述べる ・「目撃者」（エルンスト・ヴァイス ）を読み、「冷静さと洞察力、克己心」について自身の考えを述べる ・「誤り犯したときの責任明確に」（西垣通）を読み、よりよくAIを利用するための考慮事項と倫理的検討について述べる。 ・「教養教育とは何か」（内田樹著）を読み、医学校で学びたい教養教育について述べる。